2025/07/11

2025 年度「道場わっしょい！」in 福岡　実施要項

大会名	2025 年度「道場わっしょい！」in 福岡
テーマ	「仲間との絆」、「柔道の本質」、「道場の発展」
目的	柔道を通じて仲間との絆を深め、道場間の交流をはかるとともに、柔道の楽しみを見出し少年柔道の普及・発展に寄与することを目的とする
大会スケジュール	○令和 7 年 9 月 27 日（土） 14:00　柔道教室受付 15:00　柔道教室 ○令和 7 年 9 月 28 日（日） 09:00　開場・受付 10:00　開会式 10:10　集合写真 10:35　準備体操　ＪＳＰＯ-ＡＣＰ 10:40　種目説明（団体戦種目の説明会を実施） 11:20　試合開始（リーグ戦） 14:30　試合終了予定・表彰式 14:45　閉会式 ※柔道教室のみ、または大会のみの参加も可
会場	グローバルアリーナ（福岡県宗像市吉留 46-1）
主催	公益財団法人全日本柔道連盟
共催	一般社団法人スポーツひのまるキッズ協会
主管	福岡県柔道協会
後援	（予定）一般財団法人サニックススポーツ振興財団、株式会社グローバルアリーナ
協力	公益財団法人日本スポーツ協会
参加申込締切	令和 7 年 9 月 5 日(金)　17 時まで
申込方法	先着順とし、参加限度数を超えた時点で受付終了とする 申込は申込書（Excel ファイル）に必要事項を記入の上、下記メールアドレスへ提出すること Mail：fukufukujudo4@ymail.ne.jp （申込用紙は、福岡県柔道協会もしくは全日本柔道連盟公式ホームページよりダウンロード） ◎申し込みに関する問い合わせ先　福岡県柔道協会（事業責任者　渡邊宛て） e-mail のみ　fukufukujudo4@ymail.ne.jp ◎大会に関する問い合わせ先　全日本柔道連盟　新事業開発室　TEL:03-3818-4688
参加資格	全日本柔道連盟に団体登録している道場・クラブに所属している指導者・小学生とその家族・友人（最大 48 チーム） ※混合チーム、家族・友人は未経験者も可とする
チーム編成	1 チーム 3 名～6 名の小学生と出場選手の保護者又は道場指導者で構成する（4 名～7 名） 1 人が出場できる種目は 2 種目までで、大将戦のチーム DE 綱引きは、出場選手の保護者又は道場指導者が出場する ※ただし 4～6 年生対象の種目で人数が満たない場合は、1～3 年生が出場することを認める（副将戦は不可）
イベント内容	団体戦は、先鋒から大将まで以下の種目で対戦し、各種目において必ず勝敗を決する。また、次鋒、五将、中堅はＡ・Ｂの 2 つのパターンを設定し、審判のくじ引き結果により、いずれかのパターンで実施する。

2025/07/11

2025 年度「道場わっしょい！」in 福岡　実施要項

	【先鋒】 受身コンテスト （後受身・横受身（左・右）・前受身・前方回転受身（左・右））※1～3 年生 【次鋒】 寝技補強レース （A. えび・逆えび、B. しぼり・えび）※4～6 年生 【五将】 ＡＣＰ種目 （A. ひよこの戦い、B. からだじゃんけん 3 本勝負）※1～3 年生、柔道未経験者参加可 【中堅】 ＡＣＰ種目（A. しっぽ取り、B. ボール集め）※4～6 年生、柔道未経験者参加可 【三将】 打込コンテスト （背負投・大外刈 各 10 回）※1～6 年生 【副将】 柔道対戦 ※4～6 年生 【大将】チームＤＥつなひき（チーム代表者 3 名 ※1～3 年生 1 名、4～6 年生 1 名、指導者または保護者 1 名） ※三将・打込コンテストは、原則として子ども同士で行うことを前提とするが、やむを得ない場合（受が用意できない等）には、大人（大将に入る保護者もしくは指導者）が受けることも認める。ただし、大人が受けることで見栄えが向上する可能性が高いため、その際は審判員の主観により判定を行う。 ※副将は、柔道経験が 6 ヵ月未満の者は出場できない
団体戦進行方法	団体戦はリーグ戦とする。試合は 4 試合場にて行い、全ての試合進行を同時に行う 先鋒の受け身コンテストは、礼法の所作、受身の形と流れを採点の基準とする 次鋒の寝技補強レースでは、スピードと形、正確さを採点の基準とする 五将・中堅はＪＳＰＯ-ＡＣＰの種目を適用する 五将、A. ひよこの戦いでは、礼法後に、両者ともにしゃがんだ姿勢で自身の足首をつかむ。審判員の「はじめ」の合図で、お互い歩み寄り体と体でぶつかり合う。足首から手が離れるもしくは倒れたら決着となる。制限時間 1 分間で決着が着かない場合は、じゃんけんにより必ず勝敗をつける。なお、足首をつかんでいる手が離れたり、倒れそうになったり、畳に手を着いてしまった場合は負けとなる B. からだじゃんけんでは、礼法後に 2 人で向かい合い、からだを大きく使ってじゃんけんを行う。審判員の「最初はグー、じゃんけんぽん！」の「ぽん！」で、全身でグー・チョキ・パーのポーズをとる 中堅、A. しっぽ取りでは、赤帯を帯またはズボンに挟み、お互い右手で握手をし「はじめ」の合図で、左手で帯を取りあう。手が離れた場合は「待て」、1 分間で勝敗がつかない場合は「じゃんけん」にて必ず勝敗を決する B. ボール集めでは、礼法後に赤畳まで移動し、一直線に並んだ 4 つのボールを 1 つずつスタート地点の器に運んで、その速さを競う（どのボールから運んでも可） なお、ボールが器からこぼれた場合や、2 個以上のボールを同時に運んだ場合は、やり直しとする 副将は、通常の試合同様、礼法後に試合を行う。試合は国際柔道連盟試合審判規程及び大会特別規定を採用し、優劣を決するポイントがない、もしくは指導差が 1 以内の場合は、旗判定で必ず勝敗を決する 大将は、各チーム代表 3 人（1～3 年生 1 名、4～6 年生 1 名、指導者または保護者 1 名）による綱引きを行う。礼法後、お互いに綱を持ち、審判員の「はじめ」の合図で一斉に綱を引く。綱の真ん中が自陣の開始戦を超えたチームの勝ちとする。ただし 1 分間で勝敗がつかない場合は「じゃんけん」にて必ず勝敗を決する
表彰	各リーグで 1 位となったチームを表彰する また、全チームの中から、出場選手、ならびに保護者・指導者が、大会の趣旨に則り、礼儀正しく最高に盛り上げ、楽しんだチームを 2 チーム選出し「BEST OF わっしょい賞」として表彰する（選考は主催者で行う）
ゼッケン	(1) 各自で下記の要領で縫い付けること (2) 布地は白色（晒太綾）で、サイズは、横 30㎝～35㎝、縦 25㎝～30㎝ (3) 上部 2/3 に苗字、下部 1/3 に所属名を表記する 書体は楷書で、ゴシック体または明朝体を用いること (4) 男子は黒字、女子は赤字とする (5) 縫い付けの場所は後襟から 5～10㎝下部とし、対角線にも強い糸で縫い付けること

2025/07/11

2025 年度「道場わっしょい！」in 福岡　実施要項

その他	**※未経験者は柔道衣を着用しなくても参加可能** ⑴主催者にて、大会シールを用意する。出場者は柔道衣（上衣）または衣服の左上腕部分に貼り付けること ⑵当日の開館は9:00（予定）であるが、主催者の指示に従うこと ⑶持ち物には必ず記名し、貴重品は各参加団体で責任をもって管理すること ⑷健康に不安のある人は、保護者・道場指導者とで検討し棄権すること ⑸皮膚真菌症(トンスランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること 感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと 選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場が出来ない場合もある ⑹脳震盪について ①大会前１ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする （なお、至急、専門医（脳神経外科）の精密検査を受けること） ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること ⑺競技の特性上、責任ある者が付添い、引率者（指導者もしくは保護者）がいない場合は出場を認めない ⑻宿泊・昼食弁当のご案内 宿泊をご希望の際は、各団体にて、直接グローバルアリーナにお申し込みをお願いします。 窓口ご担当　森田様　morita318@global-arena.org　※メールのみ

〈免責事項〉

1. 主催者は、選手に対する傷害保険に加入すると共に、試合場に医師を配置し大会開催中の事故、傷病等の応急処置を行う。なお各道場にて必ず公益財団法人全日本柔道連盟への選手登録、申請を行うこと。

2. 大会会場への往復中の事故・地震・風水害・降雪・事件については、主催者は一切責任を負いません。交通安全には十分注意のうえ、ゆとりを持って行動すること。また諸事情により大会が中止となった際の準備、移動などに関わる費用については、主催者は責任を負いません。

3.　参加申込書に記載された個人情報、イベント中に撮影された写真、または動画等の映像が、柔道教室内外の掲示板等、全柔連ホームページ、ユーチューブチャンネルに掲載される場合がある。また、その他の報道機関等により新聞、雑誌、テレビ局等の企業により、イベントを撮影した映像の中継・録画放送が、テレビ放映及びインターネット配信されることがある。提出された個人情報については、上記の利用目的以外に利用しない。参加申込書の提出により、個人情報、肖像権についての上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

4. 主催者は、上記の申込規約の他、各大会規約に則って開催する。